

キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ウロボロス		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	高校生
	オプション		年齢		性別	♀
覚醒	死	衝動	吸血	初期侵食率	36	%
出自	最後の希望	経験	勧誘	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	38
肉体	1	1	3	1		6	行動値	10
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	10
精神	3	0	3			6	戦闘移動	15
社会	2	0	0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術: 園芸			知識: アンティーク			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
▼至近軽減 6		0				隆起+霧消
荊の鳥籠		1r+30				1D+12/20
荊の鳥籠 100~		1r+40				1D+15/25
荊の鳥籠 160~		1r+48				1D+18/30

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ペアリング	
組紐飾	
遊園地の子チケット	
プラネタリウム	
思い出の一品: リボン	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
D: 古代種	P	N		
D: 傍らに立つ影	P	N		
D: 転生者	P	N		
	P 友情	N 疎外感		
	P 友情	N 疎外感		
	P 尊敬	N 不安		
	P 信頼	N 不安		

最大財産P: 4 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1		常時	至近	自身	自動	R B	
効果:	衝動判定D+LV個。							
オリジン: プラント	1	2	マイナー	至近	自身	自動	R B	
効果:	シーン中【感覚】達成値+LVx2							
影の武具	5	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	G値+LVx2+3(11/13/15)							
紫: 崩れずの群れ	1	3	オート	至近	自身	自動		
効果:	行動非消費で加減							
影の守り手	5	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	G値+LVx3(12/15/18)							
隆起する大地★	5	2	オート	至近	範囲選択	自動		
効果:	ダメージ-1D+LVx3(12/15/18)							
浮遊する大地	5	3	オート	至近	自身	自動	★	
効果:	★の射程を視界/+2D							
雲散霧消	5	4	オート	至近	範囲選択	自動		
効果:	ダメージ-LVx5(20/25/30)							
古: インペリアルガード	3	3	オート	至近	自身	自動	D0イ	
効果:	ダメージ適用前。HPダメージ-2D							
レネゲイドイーター	3	4	オート	至近	自身	自動		
効果:	G値+LV+1D(3/4/5)							
転: 歪みの体	7	5	オート	至近	自身	自動	D100	
効果:	G値+LV+3(11/12)							
世界樹の葉	3	5	オート	至近	単体	自動		
効果:	対象をHP1で復活&侵蝕値+5							
影: 壁に耳あり	3	2	メジャー	-	-	情報	D0イ	
効果:	情報判定D+LV+1(4/5/6)							

「わたし、グラナートの分も生きます。…さみしいけど、わたし、ひとりじゃないから…」

日本への移住を機に高校生となったレネゲイドビーイング。蓄薇の花が好きで、住処である洋館でも『シークレット』や『ティアドロップ』といった蓄薇を育てている。本体は亡き少女の記憶と洋館に咲く白蓄薇が融合したものの。

とある事件をきっかけに長年連れ添った大切な従者を失った。しかし同時に得難い絆を結んだことで、彼のようににはならず済んだ。今後はUGNに所属して、自分たちのような哀しい思いをする人が出ないよう尽力するつもりでいる。

※カルミアは自身のレネゲイドの特性(古代種)について無自覚である。

メイドの名前はメグとペロニカ。(マーガレットとペロニカが原型のRB)

《インペリアルガード》在りし日の従者の姿をした影が棘を纏い主を守る。《傍らの影法師》操るつもりがないのに、時折勝手に姿を現すことがある。《傍らに立つ影》緊急時は『彼』がカルミアの代わりに戦うことがある。

生きることが償いになるのなら、わたしはきっと、たくさん贖いの旅が出来る。いつかひとりになったその先も、わたしはずっと、贖罪のための歩み続ける。

